

国立高等専門学校機構における女性研究者支援の取組

国立高等専門学校機構は、北海道から沖縄まで国立高等専門学校 51 校（55 キャンパス）を有し、学生約 53,000 人、教職員約 6,300 人を抱える大規模な高等教育機関であり、工学系分野を主に、創造性と実践性を育む特色ある教育により、技術者、研究者及び経営者等各分野で活躍する幅広い人材を輩出している。構成員に占める女性の比率は、現在、学生 18.0%、教員 8.6%、職員 27.7%となっており、男女共同参画の推進を重要課題として、本部と各高専が一体となりその促進に努めている。

【機構における男女共同参画推進体制と行動計画】

平成 22 年度に男女共同参画推進委員会を設置し、平成 24 年には男女共同参画推進室を置き、男女共同参画推進の体制を整備した。同年度文部科学省補助事業「女性研究者研究活動支援事業」の採択を受け、男女共同参画推進室の下に女性研究者のワーク・ライフ・バランスの支援拠点となる女性研究者支援オフィスを開設し、コーディネーター、キャリアカウンセラーを配置した。

また、平成 23 年 3 月に「男女共同参画宣言」を公表し、同年 9 月に男女共同参画行動計画を策定した。平成 25 年度には行動計画の一部改定を行い、女子学生及び女性教職員の比率向上について新たな数値目標を設定し、取組の加速化を図っている。

【女性研究者支援の主な取組】

1. ポジティブ・アクションで女性教員の採用・登用を促進

女性教職員の比率向上を図るため、多くの高専で女性限定公募や女性優先公募を実施している。

また、平成 25 年度からポジティブアクションにより、女性教員採用校への特別経費配分や女性教員昇任のため教員人員枠運用の弾力化等に取り組んでいる。その結果、新規採用教員に占める女性比率は、取組当初の平成 23 年度 15.9%から飛躍的に実績をあげ、平成 25 年度は 20.0%、平成 26 年 5 月 1 日現在は 21.5%となった。さらに、女性の教員応募者を増やすため、平成 25 年度から機構本部で「高専教員募集合同説明会」を開催し、複数高専において教員職を体験してもらうインターンシップも実施している。

2. 全国に点在する女性教職員をつなぐネットワーク支援

①女性研究者の教育研究活動の活性化やネットワーク形成を支援するために、「女性研究者研究交流会」を開催し、ポスターセッションやパネルディスカッションを行った。平成 24 年度 84 名、平成 25 年度 100 名の参加があった。（平成 26 年 12 月 15 日開催）

②女性研究者のワーク・ライフ・バランスやキャリア形成等を協議する「高専女性教員のキャリア形成支援ワークショップ」を開催し、平成 24 年度から平成 26 年度まで延べ 132 名の参加があった。

③女性研究者がオンラインで相互に交流を図れるよう「女性研究者交流サイト」を開設し、コミュニティルーム等を立ち上げネットワーク支援を推進している。

3. ライフイベント期間中の研究活動支援

育児や介護中の女性研究者等に対して研究支援者を配置し研究活動を支援している。平成 24 年度から平成 26 年度まで延べ 40 名の研究者に対して 43 名の研究支援者の配置した。毎年応募者が増え、制度継続のニーズが高まっている。

4. 意識啓発・裾野拡大

①管理職等の意識改革促すトップセミナーや協議会を開催するほか、啓発資料（高専における男女共同参画、育児・介護の支援ガイドブック）、ニューズレター、HPによる情報提供を行っている。

②女性研究者や女子学生を対象にキャリア相談やワークショップの実施、企業に向け高専女子の実力を PR する「高専女子フォーラム」を全国地区で開催する等キャリア形成支援を行っている。

【連絡先】国立高等専門学校機構 男女共同参画推進室

（女性研究者支援オフィス）

Tel:042-662-3172/3171 Fax:042-662-3131 E-mail: j-office@kosen-k. go. jp

URL: <http://gender.kosen-k. go. jp/>

高専機構における女性研究者支援の取組

— 科学技術の未来を拓く —

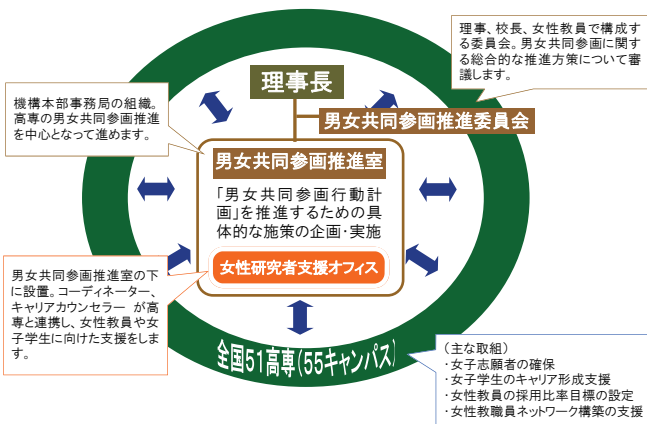
男女共同参画行動計画

(基本方針)

1. 教育活動全般を通じた男女共同参画の推進
2. 教育・研究・就業における男女共同参画の推進、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を図るための環境整備
3. 男女共同参画の意識啓発
4. 法人・学校運営における意思決定への男女共同参画の推進

ポジティブ・アクションの一層の促進を図るため、本行動計画の一部を改定(H26.1.27)し、入学者に占める女子比率、新規採用教員に占める女性の比率、教員の教授職に占める女性比率、事務職員の管理職に占める女性比率について新たな数値目標を設定しました。

男女共同参画推進体制



女性研究者支援の主な取組

全国51高専への
広域支援
(55キャンパス)



2. 女性教職員をつなぐネットワーク支援

●女性研究者研究交流会を開催

教育研究活動の成果を発表し情報交換。
(H26: 12/15 開催)
(H24: 84名参加、H25: 100名参加)



●高専女性教員のキャリア形成支援ワークショップを開催

キャリア形成の課題や支援を議論。
(H24: 38名参加、H25: 53名参加、
H26: 41名参加)



●女性研究者交流サイト

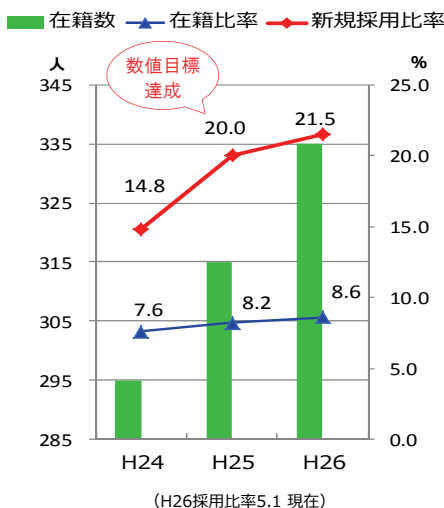
女性研究者同士の活発な交流を促進するネット上のコミュニケーションとして様々な活用。

1. 新規採用に占める女性比率「達成目標」26年度末に20%

▼女性教員比率向上のためのポジティブ・アクション

- ・募集要項に「業績等が同等の場合、女性を優先的に採用」と明記
- ・十分な業績のある女性教員昇任に、必要な期間、人員枠の運用を弾力化
- ・女性教員を採用した高専に対し、教育研究活動に必要な特別経費を配分
- ・大学等に出向き、女性の積極的採用を広報

【女性教員の在籍比率・新規採用比率】



●高専教員募集説明会を開催

現役女性教員による説明や各高専の相談コーナー等
(H26: 6/1開催)
(H25: 9/17開催)

●高専教員職のインターンシップ実施

複数高専で、高専教員職の体験実習を受入中。

3. ライフイベント期間中の研究活動支援

●研究支援員の配置

出産・育児・介護等のため、研究に十分な時間を確保することがむずかしい教員が研究活動を続けられるよう、支援員を配置。
(H24: 9高専9名に配置、H25: 12高専14名に配置、H26: 12高専17名に配置)

●保育支援

ベビーシッター育児支援事業、ファミリーサポート事業の案内ベビーシッター料金の割引券を配布

4. 意識啓発・裾野拡大

●高専女子フォーラムを全国で開催

女子高専生が高専の教育・研究活動・学校生活など紹介し、企業等に向けて学生の力を積極的にアピール。



(H25: 関西 8/30開催、関東信越 12/23開催、四国 3/21開催)
(H26: 東海北陸 8/25開催、北海道 9/6開催、中国 12/20開催)

●啓発資料



「高専女子百科」
企業向け冊子 →

← 「高専における男女共同参画」